

社会学概論	1 年・後期	2 単位	教授 藤井 浩
科目カテゴリー	人間の理解	科目ナンバリング	31120041

1. 授業のねらい・概要

社会学とは、社会の複雑な事象を読み解き、研究する学問であり、扱う対象は極めて幅が広い。本講義は、「文化」をテーマに選び、「文化社会学」と位置付けられる内容としたい。

現代社会のあらゆる分野で文化の役割が重要視されている。文化を考えることは、社会の在り方を考えることでもある。閉塞感が強まるこの社会を生き抜き、またより良い方向へと変革するために、文化の本質を知ることが不可欠だと言っていい。

文化の本質や社会との関わりを知るために、講義では、世界文化遺産がもつ社会的意義、遺産をめぐるさまざまな出来事や問題点などを取り上げる。

具体的な事例として、2014年に登録された群馬県の「富岡製糸場と絹産業遺産群」を中心に、群馬の代表的な文化的取り組み、人物を掘り下げる。さらに、新聞社で長年、文化に関わる取材を続けてきたジャーナリストの立場で新しいニュースも取り上げ、複眼的なものの見方、文化の視点からとらえた社会の現状やあるべき姿を伝えていく。

2. 学修の到達目標

1. 世界文化遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」の概要、保存・活用の意義や課題について理解を深めることができる。
2. 文化のもつ役割、社会にもたらすものを理解できる。
3. 社会人として必要とされる複眼的なもののとらえ方、人間の見方を理解できる。

3. 授業の進め方

レジュメを配布し、画像を使った講義を中心に進める。毎回、「コメント・質問」を提出してもらう。

4. 授業計画（講義）

1. 文化社会学とは何か	9. 文化とは何か①詩のまち前橋
2. 「富岡製糸場と絹産業遺産群」とは何か	10. 文化とは何か②音楽と映画のまち高崎
3. 登録運動前史 近代化遺産総合調査	11. 文化とは何か③岩宿遺跡の真価
4. 登録運動開始 戸惑いと期待	12. 文化とは何か④古墳王国ぐんま
5. メディアにとっての絹文化、絹産業	13. 文化とは何か⑤自然文化遺産・尾瀬
6. アイデンティティとは何か	14. 世界文化遺産の精神
7. 世界文化遺産登録 喜びと不安	15. 地域づくりと世界文化遺産
8. 世界文化遺産登録後の課題	

5. 成績評価の方法・基準

レポート（最終講義日に提出）、毎回提出を求める「コメント・質問」の内容で評価する。

6. テキスト・参考文献

テキストは指定しない。参考文献は上毛新聞コラム新書1『絹の物語 未来へ』、上毛新聞コラム新書2『詩のまち《前橋》ものがたり』（いずれも上毛新聞社発行）、『群馬の歴史と文化』（みやま文庫）。その他、参考文献は必要に応じて紹介する。

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な内容

ふだんから世界文化遺産と文化全般に関わるニュースをチェックし、その意義を考える。

8. 受講上の留意事項（先修条件がある場合はここに記入する）

受講規則，マナーを守る。授業内容や順番は変更する場合もある。

9. 課題に対するフィードバックの方法

毎回提出を求める「コメント・質問」に対しては，必要に応じて次の講義でコメント，回答する。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

教養選択科目

11. 該当する本授業は、以下の実務経験を活かして実施されます。

該当しない